

18歳になった 俺たち 私たちの一票



10月12日に市役所4階の議場と委員会室で「高校生と議員との意見交換会」が開かれ、県立府中東高等学校3年生生徒112人が来庁しました。議場では、先生が府中市にちなんだクイズや府中市総合計画の基本目標など市政の取り組みについての学習を行いました。また、委員会室での意見交換会では、生徒と市議会議員が直接対話し、そのテーマである「18歳の一票」についての意見では、「18歳から投票できる楽しみもあるが、誰を選ぶべきか。どのような点で選んだらよいかかわからない。」などいろいろな意見を聞かせていただきました。今後、府中高校及び上下高校との意見交換会も実施を予定しています。

9月議会

令和3年度府中市一般会計歳入歳出決算認定等を可決!

9月定例会は9月5日(月)から9月26日(月)まで22日間開き、議案28件、報告5件、意見書案2件 審議、議決しました。

主な議案

- ・ 広島県水道広域連合企業団の設立について 広島県水道広域連合企業団の設立に関する規約の制定 原案可決
- ・ 府中市上下運動公園人工芝整備事業設計施工請負契約の締結について
 グラウンド、駐車場等整備費 総額2億9,370万円 原案可決
- ・ 令和3年度 一般会計歳入歳出決算認定について
 歳入総額256億7,676万5千円と歳出総額246億2,048万2千円、収支額10億5,628万3千円の黒字 原案可決
- ・ 令和4年度 府中市一般会計補正予算(第4号)について
 歳入歳出総額に3億7,849万5千円を追加し、歳入歳出226億5,465万6千円とする。 原案可決

議員提出意見書案

- ・ 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について 原案可決
- ・ 少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について 原案可決

主な案件

- ・ 賑わいづくり特別委員会の設置
 府中市全体の賑わいづくりに資する取組について、計画段階から調査研究するために設置 原案可決

一般質問

Q & A

9月8日、9日 12人の議員が
市政を問う！



市民クラブ 水田 悠一

旧統一教会との関係



Q 旧統一教会関係団体から寄付を受けたり、講演会等で市の施設が利用されたことはあるか。今後の対応方針はどうか。

A 旧統一教会及び関連団体から寄付を受けたり、講演会等で市の施設が使われたりしたことは全くない。今後寄付の申し出があった場合には、その趣旨や目的、内容などをつかり検証したうえで、受けるかどうかを慎重に判断すべきと考えている。



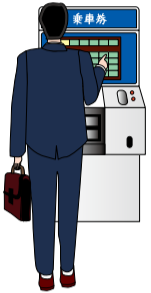
市民クラブ 芝内 明

バスの乗車券売機設置



Q 道の駅に、バスの乗車券売機を設置することで、利便性向上と道の駅の利用促進が図れると考える。設置に対する考えを伺う。

A 交通結節点の機能強化や、公共交通の利便性の向上、利用促進という観点から、乗車券販売機は、一つの方法と考えている。交通系ICカードの普及やアプリサービス開始などの状況を踏まえて、人員やコスト面など利用実態を調査する中で、検討をしていきたい。



市民クラブ 土井 基司

医療的ケア児の学習支援



Q *医療的ケア児支援法が施行され、支援体制整備が望まれる。学習機会保障の観点から、医療的ケア児が義務教育に進学する際の手続や県教委の支援体制などの現状を伺う。

A 医療的ケアが必要な児童生徒は障害などの状況にもよるが、原則、市立学校に進学する。その際、医療行為を行う資格等を有する専門員の配置が必要になる。県立の特別支援学校と合同の研修会のほか、県教委には各学校からの相談に応じる体制も構築されている。
*医療的ケア児とは、人工呼吸器などで身体の機能を補ったり、チューブなどを通して胃や腸などに直接栄養剤を注入したり、痰の吸引をおこなったりするなど、生きるために医療的なケアを必要とする子どものこと。



創生会 福田 勉

今後の羽高湖サンスポーツランドの整備



Q 羽高湖サンスポーツランドの老朽化した施設の今後の整備について伺う。

A 開業から30年余りが経過しており、キャンプ場と隣接する施設の今後の有効活用について、改めて施設の在り方を検討していく。羽高湖サンスポーツランドのテニスコートを初めとしたスポーツ施設について、基本構想を検討する過程において長期的な目線でさらなる誘客をはかり、利用者の満足度向上やリピーター増加にむけ具体的な整備計画を盛り込みたい。



創生会 加納 孝彦

都市計画マスタープラン



Q 都市計画マスタープランの更新時期が来ていると思うが、現状の府中市の状況を踏まえて策定に向けた方向性を伺う。

A 都市の拡大する時代においては、無秩序な開発を抑制する手法であった。今回の計画の見直しにおいては、無秩序な開発やインフラの維持負担を避けるため、現区分は維持しつつも、多様な暮らしへの対応や集落環境の維持、地域で頑張っておられる事業所への規制緩和などの支援が出来るよ



創生会 広瀬 和彦

民生委員児童委員の改選状況と行政支援



Q 現在の改選状況を伺う。また、各地域での選出に行政としてどのような支援を行っているか内容を伺う。

A 現在、定員数121名に対し87名の選出となり、選出率72%となっている。委員選出については、地域の状況を把握している町内会に推薦依頼をしている。市も要請があれば一緒に町内会や現在の委員と連携を図り取り組んでいく。また、民生委員児童委員協議会の窓口や社会福祉協議会とも連携を図りながら、選出に努める。



創生会 安友 正章

持続可能な農業



Q ウクライナ問題、円安、物流費高騰等で、化学肥料、飼料、燃料費が農家に多大なる影響を与えている。持続可能な農業を推進するためには所得補償と支援が必要である。次年度農林予算についてどのようになっているのか伺う。

A 農業振興ビジョンでは、多様な担い手を育成することで、持続可能な農業の確立を目指している。次年度農林予算については、調査・研究に基づき、新たな販路拡大により稼ぐ農業の実現に向け検討したい。



創生会 田辺 稔

坂根トンネル建設による上下町との一体化



Q 府中木野山線（県道388号）は、県道府中上下線の代替道路として期待されている。坂根トンネルが建設されれば時間短縮となり上下町との一体化が進むと考えるが、市としての考えを伺う。

A 坂根トンネルが実現すれば三次庄原方面への距離が短くなり、上下中心部の交流促進につながる。しかし、三室

うに、計画に位置付けてまいりたい。

橋から木野山までの6kmの内トンネル区間が1.6kmあり、工事費が膨らむことで事業化のハードルは高いと考える。



公明党
加島 広宣

水道広域連携企業団



Q 水道広域連携企業団に入ることのメリットとデメリットを伺う。

A 企業団に入ることでの水道料金の改定は、市独自の単独経営より、一定程度の値上げ抑制が出来る。また、国交付金を活用しての整備ができ、老朽管路の更新などが可能と考えられ事業執行のためのマンパワー不足の解消が見込まれるなどのメリットは多く、デメリットはないと考えている。



公明党
大本 千香子

子育て支援



Q 現在府中市の出生数は予測よりも早いペースで減少し、市内の保育所の多くで今年度定員割れが発生している。市では子育て支援の強化として保育所整備を進めてきたが、児童数の減少により今後の運営を危惧される声もある。新たな保育ビジョンの策定が急がれるが予定を伺う。

A 現在、次期の保育計画の策定に向け検討をしている。各機関からの課題の整備に時間を要するため、年度内の策定は難しいが長期的な視野で進めていきたい。



無所属
岡田 隆行

出口川への汚泥流出 事故に対する対応



Q 今回の汚泥流出事故の場合、事故が起こって水質の検査が終了したのが午後4時20分になっている。この間、どのように市民に伝えていったのか。今後の対応はどうか。

A 危機管理としては最悪の事態を想定して行動するのが鉄則鉄板。今回の重金属については、科学的知見をもとに、伝える内容、タイミング、伝達方法などを整理している。遅くとも十一月までには、一定の整理をして公表させてもらう。



無所属
藤本 秀範

全国学力テスト



Q 本市学力テストの結果と今後の取組みについて伺う。

A 本市の結果は全国、県内ともに平均値を下回る結果であった。今後の取り組みとして全学年を対象とした本市独自の調査を実施し改善に繋げる。読解力向上のため「ことばの教育」で長文問題対策を図る。各校全体の学力と体力の状況が認識できるようにホームページにて発信する。あくまでも競争と順位付けが目的ではなく、全児童生徒の学力向上が目的である。

委員会での審査

総務文教委員会

・議案第53号、府中市上下運動公園人工芝整備事業設計施工請負契約の締結について
(原案可決)

Q 人工芝については、スポーツ選手の膝に負担が大きいことや、発がん性物質を含んだチップの使用、非常に高温になるなど、昔から問題視されてきているが、公募においてどのように整理されているか

A 今回新しく整備する人工芝については、人工芝の下にアンダーパットを敷くことで、クッション性を長く維持でき、利用者に優しいものである。また、有害とされるゴムチップを使用せず、自然素材の充填剤を使用するため、環境にも優しい。また、自然素材の充填剤を使ったJFA公認ピッチで全国第1号となる予定であり、県内外か

たい。

そのため、宿泊滞在できる施設の充実、市営住宅、空き家や空き店舗の活用もあわせながら、検討し整理していきたい。また、施設のPR、知名度向上、大会の誘致、競技スポーツ全体のコーディネート、スポーツ全体のコーディネート、スポーツビジネスの展開などを行う新たな指定管理の運営主体の検討も行い、今年度中に整理したい。

厚生委員会

・報告第12号 地方独立行政法人 府中市病院機構の経営状況について
(原案可決)

Q 今年度、黒字経営になったのは、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が多額を伺う。併せて、次年度以降コロナ関連の補助金が出なくなつた場合にはどうなるのか伺う。

A コロナ関連補助金額は、総額で約2億3200万円となっており、おもに、コロナ患者用の病床確保のための補助金、ワクチン接種に係る費用に対する補助金、感染対策のための医療機器の購入、コロナ患者を受け入れるための体制確保、医療従事者に対する特殊勤務手当である。この補助金はコロナ対策に必要な支出に対するものなので、基本的に補助金がないことが、マイナスに働くものではないものと思っている。今後、患者獲得や医療サービスをしっかりとこない、新型コロナウイルス感染症の状況

や、電気代等物価高騰に伴う影響等注視しながら、市として必要な支援を継続して行っていく。

建設産業委員会

・議案第51号 広島県水道広域連合企業団の設立について
(原案可決)

Q 広域連携によって国の交付金の活用が可能となり、技術的な管理運営が本部でおこなわれることにより、人件費や運営費等が削減されるなどのメリットがあり、デメリットはないと言われたが、水道管が繋がりにくく、その水を運用していくことからすると、福山市が参加されていなく、福山市が参加されていなく、水需要が減少したときに、設備を更新する際に縮小する方法しかないのではないかと。余剰設備をダウンサイジングしていくとなれば、費用が発生することは、デメリットではないか。

A 福山市の参加の有無に関わらず、既に繋がっていないものについて敢えて何か設備投資をして、その上で統合をすることの兼ね合いを考えると、芦田川水系エリアで言えば、他団体との統合メリットはないだろうと考える。これからの府中市を考えたときに、将来的には人口減少もあるが、いろんな節水装置が普及しており、そういう中で水需要というのは、将来的にはオーバースペックになるのではないかと考える。故に、どこまでダウンサイジングするかという中で、

危機管理などを含めて、少し余裕を残してやっつけていくのか、現実は今考えていることは、城山と用土の浄水場統合では、用土を廃止するだけでなくパイプでつなぎ相互融通ができるよう、機動的になっ

ていくものと考えている。また、今回の企業団は、他団体に対して何らかの負担が府中市に生じることもなく、各団

体に必要なコストは、各団体に負担するものである。ただ、統合を共通化できるような仕組みやシステムであるとか、人的な応援体制など、そういう中で府中市単独でやるよりも人材育成、人材確保、あるいは先進的なものや、共同化出来そうなシステムの共有に大きなメリットがあると考えている。

さらに民間駐車場をお借りするなどして、駐車スペースの確保に努めている。今までにイベントなどの際に、駐車場が離れているのでわかりにく

いが、翁座の寄付を受けて用地買取からの経過時間が長過ぎるのではないかと。活用検討委員会を再開するとともに、保存活用

の創出に向けた活用策の方向性を示したい。

決算特別委員会での審査

総務文教分科会

・議案第56号、令和3年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 新しい時代を切り拓くためのLAFカリキュラム開発事業、新教科（ことば探究科）について、全国学力・学習状況調査の結果を事業の評価としているが、違う観点での評価基準も設けたほうがいいのではないかと。

A 全国学力・学習状況調査は、指標の一つとして捉えているが、このほか、ことば探究科の確実な実施により、自分たちの考えや行動に自信を持ち、自己表現できる子どもが育つという見通しのもと、市内全学校で着実に取り組みを推進し、子どもたちの資質・能力の変化も数値として表現できるところを目指している。

Q 災害対応力強化事業について、自然災害を初めとする様々なリスクから命を守るため、今後どのような工夫をして取り組みを進めるのか。

職員への質の向上に重点を置き、『考える訓練』と『動く訓練』を実施している。『考える訓練』としては、平成30年豪雨災害の教訓について振り返る研修会などの実施や、様々な被害に対する状況判断と対応に對し考えるためのシミュレーション研修を計画している。また『動く訓練』としては、職員参集のための伝達訓練、参集から初動体制確立のための訓練などを実施している。地域を対象とした取り組みとして、昨年度は、栗生で実施した避難所訓練の成果をもとに、今年度は、府中学園体育館において、リーダーの育成に主眼をおいた避難所運営体制の構築を進めている。

Q 現在までの利用状況と駐車場については問題なく利用されているか。

A 5月23日にオープンし、当センターの愛称が「ふらつと上下」に決まり、7月31日に除幕式などのイベントを行ったところ、多くの方に来所していただいている。来所者は、8月末までで5199人あり、高齢者の元気づくり事業での利用や介護保険事業者の研修、子育てステーションの利用などの定期的な利用が増えている。

また、上下高校生の学習支援である「あやめ塾」や小学生の放課後の利用などもある。イベントの際には、地域共生の一環として、府中地区医師会やあすなろ作業所、地域の支援団体などとの連携を図り、一緒に取り組んでいる。イベント等を通じて、地域の支援事業者等と連携を図りながら、気兼ねなく相談でき、支援につながるよう取り組みんでいきたいと思っている。

厚生分科会

Q 三玉プロジェクト（上下地域包括ケア拠点施設整備事業）について、9月23日に障害福祉サービス事業所がオープンし、ようやくフルオープンとなるが、その時期

が遅れた理由と費用負担について伺う。

また、上下高校生の学習支援である「あやめ塾」や小学生の放課後の利用などもある。イベントの際には、地域共生の一環として、府中地区医師会やあすなろ作業所、地域の支援団体などとの連携を図り、一緒に取り組んでいる。イベント等を通じて、地域の支援事業者等と連携を図りながら、気兼ねなく相談でき、支援につながるよう取り組みんでいきたいと思っている。

Q 産学官連携支援事業（商業ビジョン）について、産学官連携を項目に掲げていると思うが、大学を含めた連携の実績はどの程度出来ているのか。

A 昨年度は、技術指導が1件、委託研究が1件の他、技術指導や研究に至らなかった10件の技術相談をコーディネートさせていただいた。

Q これからは、府中市の次の産業を生み出し、育てていく場合、府中市全体の事業課題が出てくると思うが、それに対して近畿大学等がどのように関わっていただけるか、本市の次の産業を目標としていくための研究会のような組織を設けることは考えられないか。

A 今後、市内企業の生産性向上や共同受発注を視野に入れた事業者間連携など、さまざまな課題を抽出し、解決すべき共通の課題として集約していく中で、一つの手法として大学や企業との研究会設置といったものの必要性について検討したい。

Q 恋しき・翁座保存・活用事業について、事業評価では、コロナ禍で検討委員会の開催や旅行会社へのプロモーションが進まなかったとあ

予算特別委員会での審査

総務文教分科会

・令和4年度府中市一般会計補正予算（第4号）について

Q 総合窓口サービス導入事業について、デジタル窓口・総合申請システムは、上下支所への導入も想定をされているのか、またマイナンバーカードの持参が前提のシステムであれば、カードを持っていない場合に不利益が及ばないよう配慮があるのか伺う。

A デジタル窓口・総合申請システムについては、上下支所でも同等のサービスを展開する。また、マイナンバーカードについては、カードを持参すれば個人情報を入力をせずに処理が出来る為、より便利にスムーズな手続きがおこなえるが、カードを持っていない場合、今までもおり処理はできるので、心配はない。

Q 総合窓口の導入時期は、いつごろになるのか。

A 全体計画としては、一階と二階のレイアウトを変更するものであり、一階には、税を含めた証明関係を1か所へ集約した総合窓口を設置し、相談カウンターや相談室の増設を予定している。また、二階については、プライバシ

下地域が一体となった賑わいの創出に向けた活用策の方向性を示したい。

ーを守る相談室や、待合スペースの設置を予定している。今回の補正予算については、二階部分のレイアウト変更であり、12月末までを完了目標としている。

厚生分科会

Q マイナンバーカード取得促進事業について、現在取り組んでいる内容と実際にカードを取得した際の利便性について伺う。

A 7月からは、地域を巡回して公民館や集会所等で申請の受付を行い、8月からは、府中天満屋への常設窓口、上下町のショッピングセンターすいすいでも、毎週日曜日窓口を開設している。また、働く世代へのアプローチとして、毎週木・金曜日は市役所窓口を午後7時半まで開設し、対応している。さらに、市内の事業所、医療機関等へも出張して申請を受付けている。若い世代へのアプローチとしては、市内の高校3年生を対象にチラシを配布したり、保育所や放課後児童クラブのお迎えの時間帯に向かい申請の受け付けを行っている。また、利便性については、保険証として利用された場合

のメリットとして、まず、本人が同意すれば、医療機関や薬局で特定健診や薬剤の情報を共有できることでより良い医療が受けられることや、高額療養費制度などの対応が迅速にできるといったことがある。さらに、転職や退職などをされた場合、通常、新しい保険証を受け取るまでに日数がかかり、空白期間ができるが、切り替えの手続きをおこなうことで、この空白期間もなくなり、切れ目なく受診ができる。

Q 国のマイナポイント付与の申請期限である9月末を12月末まで延長することが決定したことに伴い、府中市独自の現金給付の対象者を令和5年1月1日以降の申請者に給付することとされたが、9月補正とするのではなく、12月補正とする判断でもいいのではないか。

A カード申請者に市独自の給付金について早めにお知らせし、円滑に届けるためにも、国の方針が明確にされているこのタイミングで予算計上することで、しっかりと仕組みづくりを行っていく。

建設産業分科会

Q 省エネ設備導入等による企業の生産性向上支援について、補助対象の選定基準は何か。また、経営を改善しているところとする企業に対して誰が診断をおこなうのか。

A 今回の制度は、省エネ診断というものに基づいて実施をするものであり、診断の中身によって、どういった

事業をやるかは、申請をしていただいた個々の企業で、お選びいただくという形を考えている。診断については、一般財団法人 省エネルギーセンターの実施する省エネ最適化診断、省エネお助け隊の省

討論

議案第64号
令和4年度府中市一般会計補正予算案(第4号)について

反対討論

無所属 岡田 隆行
マイナンバーカード普及は本来その利便性や安全性など中身の優位性を国が示して進めるものである。その責務を市町に転嫁し、「普及競争」に組み込むことは言語道断と言える。今回の補正に市独自に新規申請者へ5千円を配る予算を組むといった、まさに目的のためには手段を選ばないような手法は容認しがたい。よって反対する。

賛成討論

創生会 栗田 澄子
国はマイナンバーカードについて、運転免許の取得者8,100万人に相当する取得を目指して1兆8千億円の予算を計上し進めていたが、さらに強力に進めていくため12月末まで延長する方針を示した。市としては国の方針に従い、1月から補正予算に基づいて行う方が、格段にメリ

エネ診断の2つを想定している。いずれも経済産業省資源エネルギー庁の補助事業により実施されるもので、事業者の負担が少なく実施できるものである。

ットが大きい。よって本予算案に賛成する。

賛成討論

市民クラブ 土井 基司
マイナンバーカード取得促進事業に関して、公金による特典でカード普及を図ることは望ましくない。しかし、本予算には、医療的ケア児の通学支援事業が含まれており、かねてからの課題が予算化されたことは大変評価できる。できるだけ早く事業を実施することを期待して本予算に賛成する。

賛成討論

公明党 加島 広宣
今回の補正予算は、長引くコロナ禍や、ロシアによるウクライナ侵攻などで、原油価格や物価高騰の影響を受けられている生活者や事業者への負担軽減を図るための施策や支援である。上下高校存続のための拡充や医療的ケア児の通学支援など、全てに必要なものであり、是非とも進めていくべきと考え賛成といたします。

常任委員会の活動

総務文教委員会

総務文教委員会では、今年度の所管事務調査項目を防災・減災対策、府中「GIG Aスクール構想」ステツプアップ事業、行政経営の3点に決定し、これらの調査事項に関連して、管内視察(7月6日)と意見交換会(9月30日)を行いました。

◆7月6日 管内視察

上下北小・上下南小・上下中・府中明郷学園・府中学園
タブレット活用
の現状、持ち帰り状況、ICT活用による業務の効率化、教職員のスキルアップ、指導における課題等について、実際に授業での活用事例を拝見させていただきました。



管内の火災の消火、救急、救助活動の現状や、消防団員確保に係る啓発などについて意見交換を行いました。

◆9月30日 府中市防災士ネットワークと意見交換会

地域の防災リーダーとしての活動の状況や、防災への取り組み、抱える課題等について、意見交換を行いました。



各施設の現状や、お聞かせいただいた課題については、調査・研究を進め、提言につなげてまいります。

厚生委員会

●府中市民生委員児童委員協議会の役員との意見交換会
実施日…令和4年7月14日(木)
場所…保険福祉総合センター(リ・フレ)

任期3年の改選が令和4年12月に実施されることを含め、現在の活動内容や問題、課題、改選に伴う状況や要望など意見交換を行いました。



●子育てステーションちゅちゅ管内視察
実施日…令和4年7月14日(木)
場所…JOREUCHU(天満屋2階)

施設内の視察を行い、開設1周年としての利用状況や、



スタッフ職員
の状況、専門
職員の状況、
利用者からの
感想、今後の
取り組みなど
意見交換を行
いました。



建設産業委員会

建設産業委員会では、7月20日に翁座・井永堆肥加工センター・四季の里・河佐峡・恋しき・クリンセンターなど6施設の管内視察と産業連携室との意見交換会をおこな

いました。また、9月21日には出口川湧水施設に伺いました。各施設の現場確認や管理者の声を聴かせていただき、さまざまな課題を含め提言をいたしました。

賑わいづくり特別委員会の設置

行政課題の複雑化に伴い常任委員会の所管を横断する案件が増加しています。そのため府中市全体の活性化及び賑わいを創出する事業等について、横断的に議論を行うべきだという議長の通知に基づいて、特別委員会を設置いたしました。みなさんが府中市に愛着と魅力を感じ、住み続けようと思えるまちづくりの議論ができたらと考えます。

委員長 栗田 澄子
副委員長 水田 豊
委員 広瀬和彦
森川 稔
福田 勉
加島広宣
藤本秀範

9月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																			
	加藤吉秀	藤本秀範	岩室雄大	真田光夫	福田勉	森川稔	芝内則明	岡田隆行	加高広宣	大本千香子	広瀬和彦	安友正章	加納孝彦	本谷宏行	土井基司	水田豊	三藤毅	田邊稔	棗田澄子	
決算	令和3年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和4年度府中市一般会計補正予算(第4号)について	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事件	広島県水道広域連合企業団の設立について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	少人数学級と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	賑わいづくり特別委員会の設置	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(議長の一は採決に加わらず、○は賛成、×は反対、棄は棄権、欠は欠席、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

第10回 議員と語る会開催

「市民の皆さんの思いや願いを聴かせていただきたい」一物価高やコロナ禍で日常生活にも大きな影響が出ていることでしょうか。今年の「議員と語る会」(議会報告会)は、これまでより地域を細分して、15か所程度で11月中に開催する予定です。具体的な開催日時や場所は、町内回覧などで別途お知らせします。新型コロナウイルス感染症対策にも十分配慮しながら開催いたしますので、どうぞおさそいあわせのうえお越しください。



(一昨年の様子)

≡ 今回のおもな内容 ≡

- ①議会からのお知らせ
「各委員会からの報告」15分程度
- ②市議会に望むことなど皆さまからの声をお聴かせください
約1時間

◆お問い合わせは、
府中市議会事務局までお願いいたします。
TEL 0847-43-7172

マスクを着用してお越しください。



★長時間にならないよう配慮いたします。

議会の動き (7~9月)

- 7月4日 議会運営委員会 (6月議会の振り返り)
- 7月6日 総務文教委員会 (管内視察 (上下中など計6か所) GIGAスクール構想、授業参観、校長面談、消防管内の状況について)
- 7月12日 建設産業委員会 (産業関係室事前学習 (産業関係室の役割について) 執行部を交えて学習会)
- 7月13日 広報広聴特別委員会 (議会だより編集会議)
- 7月14日 厚生委員会 (意見交換会 (民生委員児童委員協議会) 活動、状況について)
- 7月14日 厚生委員会 (管内視察 (ちゅちゅ) 施設見学と現状)
- 7月19日 厚生委員会 (管内視察 (府中すばる幼稚園、中須たま保育園、広谷保育所) 保育方針、コロナ対応、等)
- 7月20日 建設産業委員会 (管内視察 (翁座など計6か所) 施設確認、概要)
- 7月21日 建設産業委員会 (意見交換会 (産業関係室) 取り組みと成果について)
- 7月21日 議会運営委員会 (所管事務調査 (政務活動費による視察について、他市の状況を交えて協議))
- 7月21日 市政参画促進特別委員会 (スケジュール、調査事項、全員協議会、について)
- 7月22日 厚生委員会 (管内視察 (ポムポム) 施設見学と現状)
- 7月22日 広報広聴特別委員会 (議会だより編集会議)
- 8月2日 建設産業委員会 (管内視察、意見交換会のまとめ)
- 8月4日 議会運営委員会 (9月定例会の運営について ほか)
- 8月8日 厚生委員会 (管内視察のまとめ、行政視察の調査事項について)
- 8月9日 市政参画促進特別委員会 (委員会調査事項の確認、市民アンケートについて)
- 8月12日 総務文教委員会 (管内視察のまとめ、行政視察の調査事項について)
- 8月17日 広報広聴特別委員会 (高校生との意見交換会について)
- 8月24日 建設産業委員会 (行政視察の質問事項について)
- 8月25日 厚生委員会 (管内視察 (府中市民病院、Web会議))
- 8月30日 議会運営委員会 (9月定例会の運営について ほか)
- 9月1日 市政参画促進特別委員会 (委員会調査事項の確認、市民アンケートについて)
- 9月8日 広報広聴特別委員会 (高校生との意見交換会について ほか)
- 9月9日 議会運営委員会 (議案の訂正について)
- 9月13日 決算特別委員会 (決算額と事業進捗の調査)
- 9月15日 総務文教委員会 (付託議案の調査・審査)
- 9月16日 厚生委員会 (付託議案の調査・審査)
- 9月20日 建設産業委員会 (付託議案の調査・審査)
- 9月21日 建設産業委員会 (管内視察 (出口川湧水場))
- 9月22日 市政参画促進特別委員会 (高校生用アンケートについて)
- 9月26日 広報広聴特別委員会 (編集会議、高校生との意見交換会、議員と語る会について)
- 9月30日 総務文教委員会 (防災士ネットワークとの意見交換会)

視察の受入れ

- 8月2日 湖南 (こなん) 広域行政組合 (新環境センターについて)
- 8月23日 笠岡市 (i-coreFUCHU、ネウボラ事業 (ちゅちゅ) について)

編集後記

新型コロナウイルス感染症の広がりにより、これまでに経験した事のない状況が続いております。子どもたちも、学級閉鎖や行事の中止などで思うようにいかない日々が続きます。感染予防対策をし、少しずつ終息へ向かうことを願います。いよいよ11月。寒い時期を迎えます。感染症予防は勿論のこと、健康的な生活習慣を身につけて元気に来年に向かい様々な状況を乗り越えていきたいものです。

(岩室)

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212